

慶應医学会 ニュースレター

~The Keio Medical Society~

Vol. 28 2022.10.

今号のニュースレターでは、今年度で第102回を迎える総会・シンポジウムについてご案内致します。

第102回慶應医学会総会・シンポジウム開催のご案内

2022年11月19日（土）、WEB開催（Live配信）にて、第102回慶應医学会総会・シンポジウムを開催致します。本年のシンポジウムは、精神・神経科学教室の三村将教授、放射線科学教室（診断）の陣崎雅弘教授にコーディネートをお願いし、『先端技術から紐解くところ』のテーマのもと、学内外より先生方をお招きしております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第102回慶應医学会シンポジウム開催にあたり

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授 三村 将
慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断） 教授 陣崎 雅弘

「ところ」は長い間人々を魅了するとともに、神秘的なブラックボックスでもありました。近年では、そのようなところの働きに対して人工知能（AI）や画像診断をはじめ、さまざまな神経科学的アプローチが多くのイノベーションを創出しています。このように先端技術を用いてところの働きに光を当て、さらにそれを高めていく研究領域は、ポストコロナ、ウィズコロナ時代にますますその重要性が高まっています。

今回第102回の慶應医学会シンポジウムでは、最近の先端技術により、ところの働きの解明に取り組むトップリーダーの方々をお招きし、WEB開催（Live配信）シンポジウムを行うことといたしました。まず、ご登壇いただくのはアンドロイド、ヒューマノイド研究の第一人者である石黒浩 大阪大学大学院基礎工学研究科名誉教授です。人と機械との関係性、そのあり方は大きく変貌を遂げており、精神疾患患者への治療にも応用されてきています。次に、ヒトのAMPA受容体の生体内可視化を世界で初めて実現した横浜市立大学生理学の高橋琢哉教授にシナプス生理学に関する双方向性のトランスレーショナル研究をご講演いただきます。満倉靖恵 慶應義塾大学理工学部教授には、電気生理学的手法、工学的アルゴリズムを用いて、リアルワールドでいながらにして、人のところの状態を定量評価し、さらに幸福感を高めていくためのリアルタイムセンシング

技術についてお話いただきます。

後半では、慶應義塾大学医学部精神・神経科の三村 将教授が、診察場面の短時間の会話を AI で自然言語処理し、認知症の早期診断につなげる技法についてお話しします。最後に、国際電気通信基礎技術研究所（ATR）脳情報通信総合研究所の川人光男所長には、脳回路の微細な変化を捉え、AI を用いてうつ病などの精神疾患の診断に援用していく最先端技術についてご講演いただきます。

脳科学研究の最前線に立ち、こころの問題の解明に取り組むキーパーソンの方たちのお話を通じて、日々進化するこの領域の一端を知っていただく貴重な機会となると考えています。是非、多くの方々にご参加いただき、大きく変わりつつある新時代のこころのあり方を一緒に考えていただければ幸いです。

《第 102 回 慶應医学会総会・シンポジウム》

【日 時】 2022 年 11 月 19 日（土） 13 時 30 分～18 時 00 分

【場 所】 WEB 開催（※参加費無料・事前登録制）

【主 催】 慶應医学会

【共 催】 慶應義塾大学医学部

【対 象 者】 慶應医学会会員

【視聴方法】 申込期限までに、QRコードもしくは以下リンクより事前申し込み登録をお願いします。申込期間終了後、事務局より視聴方法についてご連絡します。

<http://www.keiomedsoc.org/events/index.html>



第 9 回野村達次賞 受賞者

慶應義塾大学医学部 外科学教室（一般・消化器） 専任講師

八木 洋

受賞研究課題

「Development of Organ Regenerative Therapy by the Whole-Organ Scaffold Technology using Clinically Relevant Porcine Models」

（臨床に直結したブタモデルを用いた臓器鋳型作製技術による臓器再生医療の開発）

総 会

13 : 30 開会の辞 金井 隆典 (慶應医学会 会長・慶應義塾大学 医学部長)

13 : 35 総会議事, 野村達次賞授与式

シンポジウム 『 先端技術から紐解くこころ 』

司会 三村 將 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授)

陣崎 雅弘 (慶應義塾大学医学部 放射線科学教室 (診断) 教授)

14 : 30~15 : 10 (講演30分 討議10分)

I. 『 人と親和的に関わるロボットの研究開発 』

石黒 浩 (大阪大学大学院 基礎工学研究科システム創成専攻 荣誉教授)

15 : 10~15 : 50 (講演30分 討議10分)

II. 『 シナプス生理学の translational medicine 』

高橋 琢哉 (横浜市立大学大学院医学研究科 生理学 教授)

15 : 50~16 : 30 (講演30分 討議10分)

III. 『 リアルタイムセンシングによるストレスの定量化とウェルビーイング 』

満倉 靖恵 (慶應義塾大学 理工学部 教授)

16 : 30~16 : 40 休憩

16 : 40~17 : 20 (講演30分 討議10分)

IV. 『 先端技術を認知症の早期診断に活かす 』

三村 將 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授)

17 : 20~18 : 00 (講演30分 討議10分)

V. 『 脳回路に基づく AI 診断支援 』

川人 光男 (国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所 所長)

The Keio Journal of Medicine (KJM) 原著論文掲載料補助制度のお知らせ

学位論文または初めての英文原著論文（筆頭著者が慶應医学会会員または慶應医学部 / 医学研究科在学生の場合に限る）が KJM に掲載された場合、掲載料補助を適用します（5 万円まで）。

お問い合わせ先 : keio-j-med@imic.or.jp

慶應医学会では、新たにご就任された教授・准教授・講師の先生方にご挨拶や抱負をご寄稿いただき、ホームページ内会員専用ページにて、写真つきで掲載しております。是非一度ご高覧ください。

なお、会員専用ページアクセス用の ID・パスワードがご不明の場合、事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

また、異動や退職などに伴いまして会員情報にご変更がございました場合には、事務局までご連絡いただけますと幸いです。

慶應医学会ホームページ : <https://www.keiomedsoc.org/>

会員専用ページ : <https://www.keiomedsoc.org/member/>



事務局より

第 28 号となる本号は、慶應医学会総会シンポジウムの開催をご案内させていただきました。参加費は無料でございますので、多数ご参加いただき、活気ある会となることを祈念しております。ご来場を心よりお待ちしております。

発行：慶應医学会 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35

TEL : 03-5363-3736

FAX : 03-5361-7091

E-mail : keio-igakkai@imic.or.jp